

平成28年度第2回埼玉縣市町村国保広域化等推進会議 概要

- 1 日 時 平成28年9月6日（火）午後2時～午後4時
- 2 場 所 埼玉県庁 第三庁舎4階講堂
- 3 出席者 市町村：51市町村国保主管課長、国保連、埼玉県
- 4 あいさつ
- 5 内 容

（1）国保制度改革に係る今後のスケジュールについて

<埼玉県>

「資料1」に基づき、国保制度改革の今後のスケジュールについて、追加修正した部分を中心に説明。

（1）国保運営方針について（国保運営方針策定基礎調査業務委託）

- ・ 今年度は、WGなどで協議した内容を素案としてまとめ、県に設置する運営協議会に諮り案を策定する。
- ・ 29年度は市町村から意見を伺い、県民コメントを実施後、運営協議会の諮問・答申を経て、29年9月頃に方針を策定する予定。
- ・ 県では運営方針に記載する必須事項の、国保の医療費や財政の見通しについて、国保運営方針策定基礎調査業務委託業務委託を実施し推計・分析を行う。
- ・ 業務委託は、9月から来年1月にかけて実施する予定。

（2）国保運営協議会について

- ・ 県の国保運営協議会については、運営方針や納付金などの重要事項を審議するため、9月定例会において条例を上程するための準備を進めている。
- ・ 第1回を、12月から1月に開催する方向で準備している。

（3）納付金算定のためのデータ提供

- ・ 算定のためのシステムを10月に導入するため環境整備などの準備を進めている。
- ・ 試算のためのデータ提供を、当初は9月末まででお願いしていたが、7月6日付で10月末までに提供いただけるよう依頼した。
- ・ 県へのデータ提供のためのシステム改修について協力をお願いしたい。

（4）市町村事務処理標準システム導入意向調査

- ・ 厚生労働省から、導入意向調査の通知があり、8月30日付で県から通知したので、検討いただき9月23日までに回答をお願いしたい。

（2）財政運営WGの進捗状況について

<埼玉県>

「資料2-1」「資料2-2」「資料2-3」に基づき、財政運営WGの進捗状況などについて説明。→ 原案のとおり承認。

- （1）（2）について質疑・意見交換

<市町村>

- ・資料2-1 納付金算定に係る γ の数値については、今後調整ということか。

<埼玉県>

- ・ γ は、納付金の総額を合わせるための係数である。

<市町村>

- ・資料2-3 納付金算定及び標準保険税率の算定に係る、保険料軽減分の取扱いについて説明してほしい。

<埼玉県>

- ・④の保険料軽減だが、標準保険税率の算定基礎額には入っている。標準保険税率を構成しているのは、④、⑤と保険料で集める額。保険料軽減は、いったん保険税率の算定に賦課をかける基礎額に入れてから減額する。

<市町村>

- ・資料1（国保事業費納付金、標準保険税率について）

前回の資料では、納付金の試算結果は、28年12月に提示とあったが変更はないか。

<埼玉県>

- ・変更はない。

<市町村>

- ・資料1（国保事業費納付金、標準保険税率について）

- ・現在、県から市町村に、市町村の国保改定時期のアンケートがきている。
どのような形で国に要望するのか。

<埼玉県>

- ・11月に要望する予定である。

<市町村>

- ・納付金仮決定の時期について、前倒しは可能か。

<埼玉県>

- ・当県の財政WGでは、このスケジュールでは厳しいという意見をいただいている。
- ・7月に国に直接、本県の状況を説明し、スケジュールの見直しを要望した。
- ・8月の14大都道府県会議で他都道府県に確認してみたがどこも不都合なしという意見だった。
- ・現在実施している、アンケート結果を踏まえて、市町村に不都合が生じるのであれば、国に実状を説明する。

（3）事務処理標準化WGの進捗状況について

<埼玉県>

- ・「資料3」に基づき説明。
- ・資料3に記載の今後の方向性について、原案のとおりとしたい。
→原案のとおり承認。

(4) 保健事業WGの進捗状況について

<埼玉県>

- ・「資料4」に基づき説明。
- ・標準保険税率算定の際に加算する保健事業の範囲について、原案のとおりとしたい。
→原案のとおり承認。

○ (3)(4)について質疑・意見交換

<市町村>

- ・H30からの市町村事務処理標準システムの導入意向調査がきているが、強制的なのか。

<埼玉県>

- ・システム導入については強制的なものではない。
- ・事務の標準化については、できるものについては市町村と協議の上実施できればと考えている。

(5) 健康マイレージについて

<埼玉県>

- ・「資料5」に基づき説明。

(6) その他

<埼玉県>

- ・次回、第3回広域化等推進会議は、各WGの進捗状況などを勘案した上で開催する。